

## 2025 年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

授業コード：25041614

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	国際平和の追求：オーストリア編
担当者	岡松 暁子・櫻井 洋介
実施時期	2026年3月8日(日)～17日(火)(7泊10日+機中泊)
実施場所	オーストリア(ウィーン、ウィーン郊外)
協力機関	在オーストリア日本国大使館、在ウィーン国際機関日本政府代表部、国際原子力機関 (IAEA)、国連薬物犯罪事務所 (UNODC)、国際連合工業開発機関 (UNIDO)、包括的核実験禁止条約機関準備委員会 (CTBTO)、国際応用システム分析研究所 (IIASA)
募集人員	25名～30名 *2026年3月に卒業予定の学生は単位の取得はできず、また奨励金給付の対象とはならないが、参加は歓迎。
学習目的	国際法が実際に使われている現場(大使館、国連機関等)を訪れ、国際社会の秩序がどのように維持されているのかを体感する。 ウィーン会議が開催された宮殿を訪れ、外交会議について考える。また、マウトハウゼン強制収容所跡等を見学し、ナチスによるユダヤ人迫害について学ぶ。 その他、外国の歴史や文化に触れ、日本を振り返りつつ、国際感覚を身に着ける。
行程	1日目：出国 2日目：ウィーン到着 3日目：在オーストリア日本国大使館、在ウィーン国際機関日本政府代表部 4日目：国際原子力機関 (IAEA)、包括的核実験禁止条約機関準備委員会 (CTBTO) 5日目：国連薬物犯罪事務所 (UNODC)、国際連合工業開発機関 (UNIDO) 6日目：国際応用システム分析研究所 (IIASA) 7日目：マウトハウゼン強制収容所跡の見学 8日目：シェーンブルン宮殿、ウィーン美術史美術館 9日目：帰路 10日目：帰国 *行程に変更の可能性有り。
費用	40万円程度(今後、参加人数、燃油料等により、多少の変更の可能性有り) (航空運賃、宿泊費、朝食代、貸切バス代、団体旅行中の税金・サービス料・チップ、成田空港施設使用料・旅客サービス料、現地空港税、燃油サーチャージ・航空保険料、旅行傷害保険代を含む。但し、燃油サーチャージの額は変更の可能性有。) *その他諸経費(現地交通費、食事、入場料など)で5～10万円程度。 *パスポートは各自取得する。
奨励金の カテゴリー	海外 FS 奨励金：在学中に1回を限度として、最大で9万円
選考基準	志望理由書と面接による。 事前に説明会を開催する。説明会の日程は後日連絡する。
事前・事後 学習の予定	事前授業5回程度、事後授業2回。日程は追って連絡する。

注 意 事 項	(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2) 出発までに、各自でパスポートを取得しておくこと。(有効期間が帰国日以降3か月以上あること) (3) 大学から案内のある旅行傷害保険に加入すること。
評 価 方 法	事前・事後講義への参加、事前学習での発表、現地での活動、事後報告会での発表、事後のレポート等により総合的に評価する。